

P G D-6 法定研修等の質の向上を考える（都道府県の役割と着眼点）

【話題提供2】研修の質の向上について

1 規模の確保に向けた取り組み

- ・ 質の向上はもちろんだが、並行して量（規模）の確保も必要
- ・ 周知期間・修了証書交付や他研修のスケジュール等を考慮し、演習会場を確保
- ・ 初任者研修と現任研修のファシリテーター配置表の作成

2 質の向上に向けた取り組み

- ・ 新たなファシリテーターの確保とファシリテーターの養成
- ・ 専門コース別研修の活用
- ・ 実習先となる区市町村への協力依頼と説明会の実施

3 区市町村ごとに異なる状況への対応＝課題

- ・ 東京都の相談支援事業では、圏域ではなく区市町村をベースにしている
- ・ 主任相談支援専門員が10人以上の自治体からゼロの自治体まで
- ・ 実習の対応の差

法定研修の質の向上のためのチェックリスト（例）

No.	項目	チェック欄	メモ
1	国の示す「標準カリキュラム」を理解把握した		
2	庁内の協議会体制整備事業担当者とは日頃から相談しあえる関係だ		
3	研修実施の拠り所となる理念やビジョンがある		
4	研修の質について相談でき、共に検討できる相手がいる		
5	前年度の研修内容を振り返り、継続すべき点と改善点を把握した		
6	前年度の地域実習等の結果から地域の状況把握を試みた		
7	新たな演習ファシリテーターの育成に取り組んだ		
8	研修講師演習ファシリテーターとの関係性の維持に配慮した		
9	同一研修を複数日程で実施する場合どの日程でも同内容が提供できる工夫をした		
10	申込時に受講希望者（推薦事業所）へ研修の目的を分かりやすく案内した		
11	地域での実習にあたり、協力者（市町村等）に目的と実施方法を説明した		
12	地域の実習協力者との信頼関係の構築に取り組んだ		
13	研修後、研修講師等からアンケート等によるフィードバックを受けた		
14	翌年度以降も安定して研修が実施できる仕組みづくりに取り組んだ		